

第五十一回帝國議會
衆議院

府縣制中改正法律案(政府提出)外六件

府縣制中改正法律案(政府提出)
市制中改正法律案(政府提出)
町村制中改正法律案(政府提出)
北海道會法中改正法律案(政府提出)
北海地方費法中改正法律案(政府提出)
水利組合中改正法律案(政府提出)
中郡及郡長ニ關スル規定ノ適用ニ關スル法律案(政府提出)

委員會會議錄(速記)第六回

會議

大正十五年三月六日(土曜日)午前十時
四十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 荒川 五郎君

理事 由谷 義治君

理事 赤間嘉之吉君

理事 高鳥 順作君

高木 正年君

奧村 千藏君

工藤 鐵男君

青木知四郎君

松實喜代太君

石坂 豐一君

奧野小四郎君

田口 文次君

出席政府委員左ノ如シ

內務政務次官 儀 孫一君

內務書記官 田中廣太郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

內務事務官 狹間 茂君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

市制中改正法律案(政府提出)

町村制中改正法律案(政府提出)

北海道會法中改正法律案(政府提出)

北海道地方費法中改正法律案(政府提出)

提出)

水利組合法中改正法律案(政府提出)
徵發令中郡及郡長ニ關スル規定ノ適用ニ關スル法律案(政府提出)

○荒川委員長 是ヨリ府縣制法中改正法律案外六件ノ委員會ヲ續行シ、市制以下全部ヲ議題ト致シマス、次官以下ノ政府委員ハ直ニ出席ノ答デアリマ

スガ、只今丁度貴族院ノ質問應答ニ引掛テ居リマスカラ、ソレヲ切上ゲ次第

出席ノ答デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、加藤綱一君

○加藤(綱)委員 市制第二十條ニ付テ

伺ヒマス、只今迄市會議員ノ議員ヲ生

ジマシタルキ、議員ノ數ガ一定ノ數ニ

達シタルトキ若ハ市長市會府縣知事

等ガ必要ト認メタルキデナケレバ、補

關選舉ヲ行ハナクテモ宜カッタモノガ、

今度ハ一人デモ議員ガ生ズルト三箇月

以內ニ補關選舉ヲ行フベシト云フヤウ

ナ改正ニナツテ居リマスカ、是ハ如何ナ

ル理由ニ基イテ居マセウカ、衆議院議

員ハ御承知ノ通り議員ガ一選舉區ニ於

テ二人以上デナケレバ補關選舉ヲ行ハ

ナイト云フコトニナツテ居リマス、此實

際問題カラ言ヒマス、大キイ市ナゾ

ニ於テハ一人デモ議員ガアルト直ニ補

關選舉ヲヤルト云フコトハ、非常ニ市

民ノ負擔ト思ヒマスガ、ドウ云フ理由

デスウ御改正ニナツタカ一應伺ヒマス

○狹間內務事務官 此度市制町村制ヲ

通ジマシテ、市會議員、町村會議員ガ

缺員ナリマシタ場合ニハ、現行法ハ缺

員三分ノ一ニ至ルマデハ補關選舉ヲ行

ハナイデ宜イヤウニナツテ居ルノヲ、直

ニ一人デモ缺員ヲ生ジマスレバ補關選

舉ヲ行フト云フ原則ヲ變更シマシタ理

由ハ、現在同ジ地方制度デアリマシテ

モ、府縣制ニ於キマシテハ、現行法ニ於

テ缺員ガ生ジマスレバ此補關選舉ヲ三

箇月以內ニ行ハナケレバナラナイコト

ニナツテ居リマス、ソレカラ市制町村制

ニ付キマシテモ、市制第十三條、町村制

第十一條ニ於キマシテ、人口ニ依テ議

員ノ員數ガ決マツテ居リマス、法律ハ常

ニ——例ヘバ人口二萬ノ土地デアレバ

三十人アルト云フコトヲ原則トシテ要

求シテ居ルノデアリマス、此原則ヲ常

ニ滿タシテ置クト云フコトガ、市町村

ノ意思機關ヲ充實スル所以デアルト云

フ上ニ於キマシテ、此度缺員ガ出來マ

シタトキニ直ニ補充スルコトニ改メタ

譯デアリマス

○加藤(綱)委員 町村制ノ十五條ノ間

題ニ付テ一寸承ツテ置キマスガ、從來父

子兄弟關係ニアリマスル者ガ、同一町

村ノ町村會議員ニナルコトハ出來スト

云フ制限ノアリマシタノヲ、今度削除

サレタノデアリマスガ、今マデ之ヲ制

限シテ居タル理由ト、之ヲ削除シタル

理由トヲ承リタイノデアリマスルガ、

今回民事訴訟法ノ改正モアリマシテ、

從來父子兄弟其他緣故關係デアリマシ

タ者ハ、證人等ニ喚問スルコトガ出來

ナカッタノヲ是ガ矢張改正ニナツテ居リ

マスガ、是ハ要スルニ公私ノ觀念ガ段々

トハッキリシテ來タトカ、或ハ教育ノ

程度ガ進ンデ、サウ云フ愛憎ニ依テ訴

ヲ決スルヤウナコトハナクナツタデア

ラウト云フ簡單ナ理由ニ依テ御削除ニ

ナリマシタカ、或ハ此民事訴訟法ノ改

正トハ全然違ッタ理由デ御削除ニナリ

マシタカ、之ヲ承ツテ置キマス

○田中政府委員 只今ノ御尋ノ點ニ御

答致シマスルガ、元來市町村會ノ議事

ハ御承知ノ如ク公開デアリマスルシ、

今日ノ場合ニ於キマシテハ、既ニ地方

自治モ十分發達ヲ致シテ居リマスカ

ラ、徒ニ父子兄弟ノ緣故アル故ヲ以テ、

町村會議員ノ職ニ在ルコトヲ禁ズルト

云フヤウナコトノアリマスルノハ、洵

ニ杞憂ニ過ギナイヤウナ感ヲ免レナイ

ノデアリマス、而シテ又是ガ爲ニ一面

失職ヲサセルト云フヤウナコトニナリ

マス、適任者ヲ得難イト云フヤウナ

理由

提出)

提出)

提出)

提出)

提出)

提出)

提出)

提出)

提出)

場合モゴザイマスノデ、彼此レ考ヘタ結果、民事訴訟法ノ關係トハ別ニ、地方自治ノ現況ニ鑑ミマシテ、此規定ヲ廢シタ次第デアリマス

○加藤(綱)委員 初メ其制限ガシテアツタ理由ハ……

○狹間内務事務官 現行市制ガ出來マシタトキニ制限シマシタ理由ハ、一般ノ府縣若クハ國ノ議會ト違ヒマシテ、團體ノ範圍モ狹イシ、其間ニ父子兄弟タル緣故アル者ノ間ニ相當多數ノ議員ガ出來テ、血族關係ニ依リマシテ色ミ公事ヲ私事ヲ以テ左右スルヤウナ處ガアルト云フノデ、禁止シタノデゴザイマスケレドモ、既ニ議事ハ公開サレテ居リマスシ、只今田中政府委員カラ御述ニナツタヤウナ理由ヲ以チマシテ、現在ニハ既ニ之ヲ制限シテ置ク必要モゴザイマセヌシ、既ニ府縣制デハ此制限モゴザイマセヌシ、又官吏ノ關係ニ於テハ斯ノ如キ制限モナイノデアリマスカラ——官吏相互ノ間ニ於テハゴザイマセヌカラ、此度議員相互間ニ於ケル緣故間ノ制限ト云フモノハナクナツタノデアリマス

○石坂委員 一寸私モ簡單ニ伺ッテ見タイノデスガ、昨日大口君ト政府委員トノ間ニ應答ノアリマシタ府縣制——市制ノ方モ私聞クノデスガ、府縣制ノ關係ヲ申上ゲルノデス、選舉區外ニ住所ヲ移シマシテモ、選舉權ヲ有スルトキニハ、前ノ區域ニ行ッテ選舉セイト云

フ明文ガアルノデアリマス、府縣制ノ書方ト市ノ方ノ法文ノ書方トハ異ナツテ居ルノデアリマス、是ハ市制ノ方ハ餘程明瞭ニ出來テ居ルヤウニ思ヒマスガ、府縣制ノ方ニドウシテ市制ト同ジヤウナ遣方ニ出來ナカッタノデセウカ、府縣制ノ方ハ住所ヲ移シタルガ爲ニ云云トアリマスルガ、サウ云フ場合ヲ豫想スルコトモ極メテ困難デアリマス、市制ノ方ハ其點ハ餘程明瞭ニ出來テ居ル、例ヲ舉ゲテ申シマス「選舉人ハ住所ニ依リ選舉區ヲ定ム」其後ニ持ッテ行キマシテ斯ウナツテ居ルノデアリマス、是ハ二十五條ノ第九號デアリマスルガ「選舉區アル場合ニ於テ選舉人名簿ノ調製後選舉人ノ所屬ニ異動ヲ生ズルコトアルモ其ノ選舉人ハ前選舉區ニ於テ投票ヲ爲スヘシ」斯ウ書イテアルノデアリマス、府縣制ニ於キマシテモ是ト同ジ事柄ガ餘程ムヅカシク規定シテアリマス、昨日大口君ガ御質問ニナツタヤウニ伺ッテ居ッタノデアリマスガ、斯ウナツテ居ルノデアリマス、府縣制ニ於キマシテハ第十八條ノ十號ニ於キマシテ

「選舉人名簿調製ノ後選舉人其ノ投票區域外ニ住所ヲ移シタル場合ニ於テ仍選舉權ヲ有スルトキハ」前住所地ノ投票所ニ於テ投票ヲ爲スヘシ」此同ジ事柄ガ大變法文ノ書方ガ違フノデアリマス、是ハ市制ノ方ハ餘程明瞭ニ出來テ居ルヤウニ思ヒマスガ如何デセウ

○狹間内務事務官 此規定ハ内容ハ同

ジデゴザイマスケレドモ、府縣制ノ第十八條ノ此度改正ニナリマシタ第十號ハ「仍選舉權ヲ有スルトキハ」ト云フコトヲ書イテアリマセヌト、住所ヲ移シタル場合ニ於テ——投票區域外ニ住所ヲ移シタル場合ニ於テ多クハ選舉權ヲ失フ、何トナレバ市町村公民タルコトガ府縣會議員ノ選舉權ノ原案デアリマスカラ、投票區域、原則トシテ市町村ノ區域ニ依リマス關係上、多クハ投票區域外ニ住所ヲ移ストキニ選舉權ヲ失フコトニナリマスカラ、東京ニ於ケル各區ノ間ノ若クハ市町村ノ間ニ於テ投票分區ヲ設ケタル場合ニ於テ、投票區域外ニ住所ヲ移シタル場合ニ、例外的規定ヲスル必要上「仍選舉權ヲ有スルトキハ」ト云フ規定ヲ置イタノデアリマス

○石坂委員 其所ニ私ノ疑問ヲ生ズルノデアリマス、今政府ノ御辯明ニナツテ居リマス實例カラ申シマス、東京ノヤウナ大キナ處ハ選舉區ト云フモノヲ造リ、其選舉區ニ於テ投票ヲ決メルノデアツテ、廣イ東京市全般ニ對シテ住所ヲ決メルモノデハナイト考ヘル、ソレハ第十六條ニ左様ナ條文ガ出テ居ル「選舉人ハ住所ニ依リ所屬ノ選舉區ヲ定ム」トナツテ居ル、他ノ選舉區ニ住所ヲ有シテ、其選舉區ノ名簿ニ載ルト云フコトハ豫想ガ出來ナイ、本來選舉區ト云フモノハ東京市デモ市内ニ於ケル選舉區ト府縣會議員ノ投票區トハ、政

府ニ於テ別ナモノニナサル氣遣ヒハナイ、ソレデナケレバ選舉ノ手續ガ混淆シテ來マスカラ、政府ハソレニ頓著ナク投票區ハ別ニ決メテ譯デアルカ、或ハ芝ト麻布トノ間ノ區域ヲマゼコセニスルカモ知レヌト云フコトナラバ別デアリマスケレドモ、選舉區ニ依テ東京ハ分レテ來ルト私ハ信ズルノデアリマス、サウナツテ見ルト住所ヲ移シテモ選舉權ヲ失ハヌト云フヤウナコトハ豫想ガ出來ナイノデアリマス、ソレデ選舉名簿ニ載ッタ者ガ住所ヲ移シタル場合ニハ、元ノ名簿ニ依テ選舉セヨト云フコトガ市制ニ載ッテ居ルノデハナイカト思ヒマスガ、私ノ考ガ間違ッテ居リマスカラバ御説明ヲ願ヒタイ

○狹間内務事務官 御答致シマス、市制ノ方カラ申シマス、市制ノ選舉區アル場合ト申シマスノハ、詰リ同一市内ニ於テ選舉區ヲ設ケタル場合デアリマスカラ、選舉權ヲ失フコトハ絕對ニ無イ譯デアリマスカラ「仍選舉權ヲ有スル」云々ト云フコトハ言フ必要ガ無イノデアリマス、府縣制ノ第十八條ノ十項ハ原則トシテ投票區域ガ變リマス、投票區ガ市町村ノ區域ニ依テ居リマスカラ、而シテ府縣會議員ノ選舉權ハ市町村公民タルコトガ要件デアリマスカラ、投票區ガ變ルトキハ原則トシテ選舉權ヲ失フコトニナル譯デアリマス、然ルニ第十項ニ「仍選舉權ヲ有スルトキハ」ト書キマシタノハ、東京デ申シマスト各區ガ總テ投票區ニナツテ居リマ

ス、併ナガラ東京市ハ一ノ市デアリマ
スカラ、其市ノ内部ニ於テドノ區ニ住
所ヲ移シマシテモ、矢張同ジ東京市ノ
公民デアリマスカラ、選舉權ヲ持ッテ居
ル、ソレ故ニ其場合ハ仍選舉權ヲ有ス
ルト云フコトニナリマシテ、選舉權
ガアルカラ縦令住所ヲ移シマシテモ、
元ノ投票區ノ名簿ノ有ル處ニ行ッテ選
舉權ヲ行使スルコトガ出來ル、又其所
デ行使ヲシナケレバナラヌト云フコト
ヲ規定シタ譯デアリマス

○石坂委員 最近地方制度ノ審議ガ行
ハレルコトヲ知リマシテ、地方ヨリ選
舉人名簿ヲ隨時名簿ニ變更スルヤウニ
シテ賫ヒタイト云フコトヲ村長邊リカ
ラ申シテ參ル、町村會議員ノ選舉ト云
フモノハサウ何遍モヤルモノデハアリ
マセヌ府縣會ノ選舉モサウ何遍モヤル
モノデハアリマセヌカラ、定時名簿ニ
シテ不用ノモノヲ毎年作ルノハドウデ
アラウカト考ヘテ居ル、之ニ就テ村長
ガ自ラ言ッテ來タ者モアリ、書面デ云ッ
テ來タ者モアリマス、之ニハ一得一失
ガアリマセウガ、之ニ付テハ政府部内
ニ於テ毎年選舉權ヲ有スル者ガ何人、
選舉權ヲ持タナイ者ガ何人ト云フヤウ
ナコトヲ御調べニナル爲ニ、毎年確實
ナ調査ヲ行フ方ガ便利デアルト云フヤ
ウナコトデモアルノデスカ、或ハ單ニ
選舉バカリノ必要上、何時選舉ヲ行フ
カモ知レヌト云フ爲ニ、選舉人名簿ヲ
作ルノデアリマセウカ、其點ヲ伺ッテ置

キタイ、私共此ヤリ方ハ法文トシテ机
ノ上カラ論ズルト至ッテ都合ノ好イヤウ
ニ思ヒマスケレドモ、實際執務者ノ多
數ハ隨時名簿ニシテ賫ヒタイト云フ者
ガ多數アリマスカラ、ソレヲ伺ッテ置キ
マス

○田中政府委員 御説ノ通り隨時名簿
ニ付キマシテハ、手數ヲ簡捷ニスル便
利モアルヤウニ思ヒマスガ、又此度選
舉權ヲ擴張致シマシテ、選舉人ノ數ガ
増加致シマシタ關係上カラ考ヘテ見マ
スト、隨時名簿ニ致シマス動モスレ
バ其調査ノ爲ニ十分ナル日子ガ無イ結
果、多少不正確ニナル缺點モアリマス、
又御承知ノ通り此度ノ改正ニ於キマシ
テハ、補缺選舉ヲヤリマス場合ニ於キ
マシテ、議員ノ三分ノ一以上市町村會
議員ノ缺員ガアリマセヌデモ、直ニ補
缺選舉ヲ行フト云フ趣旨ヲ採用致シマ
シタ結果、將來選舉ヲ行フ機會ガ自ラ
多クナラウト考ヘマスカラ、其點カラ
參リマス、隨時名簿ニシテモ定時名簿
ニシテモ、大體毎年作ルヤウナコトガ
行ハレハセヌカト云フ點モ、隨時ト定
時ノ事務簡捷ノ差ヲ少ナカシシメル
點デアラウト思ヒマス、殊ニ又此度ノ
地方制度改正ニ依リ、府縣制ニ依ル名
簿ト町村制ニ依ル名簿ト、同一内容ヲ
有スル名簿ニナリマシタ結果、從來ヨ
リモ名簿調製上二重ニ作ル必要ガ無ク
ナリマシタノデ、其點カラ申シマシテ
モ定時名簿ニ致シテ置キマシテモ、左

程手數ヲ餘計要スルトハ考ヘラレマセ
ス、彼此レ致シマシタ結果、此度ハ全部
定時名簿ト云フコトニ致シタノデアリ
マス

○石坂委員 御辯明ヲ承ッテソレデ傳
達シテ置ケバソレデ宜シイト思ヒマス、
最後ニ附則ノ方ニ於キマシテ、府縣制
ニモアッテ伺ハウト思ヒマシタガ、時間
ノ都合デ伺ヘマセヌデシタガ、議員選
舉ノ方ハ次ノ總選舉デアリマスカラ分ッ
テ居リマスガ、他ノ規定ノ施行ハ勅令
ヲ以テ定メルコトニナッテ居リマス、ソ
レデ此法律バカリニ限リマセヌガ、近
來政府カラ提出ニナル法律案ニ於テ、
施行期日ヲ勅令ニ委任シタル法案ガ澤
山出テ居ル、吾々ハ如何ニモ政府トシ
テハ御都合主義ニ何時施行シテモ差支
ナイヤウナ便宜ヲ取ラレルノデアリマ
セウガ、吾々トシテハ政府ガ何時カラ
施行スルカ確信ノナイ法律ノヤウニ伺
ハレルノデアリマスカラ——併シ或ハ
サウ云フ意味カラバカリ出テ居ルノデ
アリマスマイガ、別ニ法文ニ依テ必要
ノアルモノトナイモノトガアリマス、
大體衆議院議員選舉ノコトハ次ノ總選
舉カラデスガ、其他ノモノハ何時カラ
實施ニナルト云フ其御見込ガアリマス
ナラバ伺ッテ置キタイ、モウ一ツ町村會
議員ノ總選舉ヲ五月ニ行フモノハ何箇
村或ハ府縣會選舉ヲ九月ニ行フ所ハ何
箇所ト云フヤウナコトガ分リマスナラ
バ、後カラデモ書類ヲ御廻シテ願ヒタ

イ、何故左様ナコトヲ伺フカト云フト、
最近自分ノ所ニ通信ガ參リマシテ、府
縣會議員ノ選舉ハ九月二十五日カラ三
十日ノ間ニ行ハレルノガ多イ、然ルニ
從前ノ如ク一年以内ノモノヲ載セルト
云フナラバ宜シイガ、九月二十五日現
在ニ依テ載リ、其名簿ガ十二月二十五
日ニ確定スル、サウスルト九月二十五
日ニ行フ選舉ハ、前年十二月二十五日
ニ確定シタル名簿ニ依ルカラ、三年以
上住所ヲ占メテ居ラナイト選舉ヲ行フ
コトガ出來ナイト云フコトニナッテ、其
間折角選舉權ノ擴張ヲ致シマシテモ、
恩典ニ浴スルコトガ出來ナイト思ヒマ
スカラ、此點ニ付テ政府ノ意嚮ヲ聞イ
テ賫ヒタイト云フ書面ヲ賫ッテ居ル譯
デアリマス、サウスルト一府縣ノ爲ニ
他ノ方ヲ犠牲ニスルコトハ出來ナイカ
ラ、大多數ノ府縣ナリ大多數ノ町村ニ
付テ此名簿ノ基準ノ取り方ガ適當シテ
居ルト云フコトガ分レバ、多數ノ者ガ
安心スルダラウト思ヒマスノデ、參考
書類ガアリマシタラ後デモ宜ウゴザイ
マスカラ御示ヲ願ヒタイ

○田中政府委員 只今ノ參考書類ハ後
デ差上ゲマス、其他ノ事ハ狹間君カラ
御答スルコトニ致シマス

○狹間内務事務官 只今御問ヒノ第一
ノ施行ノ期日ノ問題デアリマスガ、選
舉ノ規定ノ方ハ最も早ク之ヲ施行スル
ト云フコトガ適當デアルト云フ意味ニ
於テ、次ノ總選舉ノアル各市町ニ付テ

隨時之ヲ適用シテ行クト云フコトニシ
タ譯デアリマス、又其他ノ規定ハ殊ニ
府縣制市町村制ニ付テハ、此度ノ改正
ハ郡制廢止ニ伴フ規定ガ澤山アリマス
ノデ、其關係ヲ考慮シマシタ結果、勅令
ヲ以テ施行期日ヲ定メルコトニシタ譯
デアリマス、隨テ市制ニ付テモ同ジ内
容ヲ持チマシタ改正デアリマスノデ、
等シク府縣制、市制、町村制ヲ通ジマシ
テ時期ヲ同一ニスル必要上、皆勅令ヲ
以テ施行期日ガ定メラレルコトニ規定
サレタ譯デアリマス、ソレカラ只今ノ
住所ト名簿調製トノ關係デアリマスガ、
定時名簿ニシマシタ一ツノ理由ガ衆議
院議員選舉法ニ依ル選舉權ノ内容ト、
市町村公民權ノ内容トガ、今度一年以
來引續キ住居ヲ有スルモノヲ二年以來
其市町村内ニ住居ヲ有スルモノト致シ
マシタ關係上、衆議院議員選舉名簿ヲ
作ラタ其當日ヲ押ヘマスレバ、其中カラ
二年以來住所ヲ有スルモノヲ取ルコト
ニシテ、適當ナ名簿ヲ作ルニ非常ニ事
務ノ便宜ヲ得ルコトガ出來マスノデ、
毎年作ル關係ニ於テ九月十五日ヲ名簿
調製期日トスルコトガ、最モ適當ト考
ヘマシテ、九月十五日ヲ押ヘタ譯デア
リマス

京ノ如キ大ナル都市デアツテモ、義務教
育ノ盲人教育ヲ施シテ居ナイ、今回市
町村制ノ改正ニ點字投票ヲ認メタコト
ハ結構デアリマスガ、政府トシテハド
レダケノ之ニ對スル用意ガアルカ、選
舉ノ際其點字ヲ讀ミ得ル人ガ一人二人
アツテモ、黨派ノ關係上讀誤ラナイトモ
限ラナイ、其用意アリヤト云フコトヲ
承リタイ
○田中政府委員 此度町村制ノ改正ニ
於キマシテ、點字投票ヲ認メマシタノ
ハ、既ニ衆議院議員選舉ニ於キマシテ
點字投票ヲ認メマシタ趣旨ト同ジ趣旨
ニ倣ヒマシタ譯デゴザイマス、而シテ
文字ニ付テハ選舉法ニ附屬シテ居リマ
ス別表ニ於テ、點字投票ノ文字ニ關ス
ル解釋ヲサレテ居リマスノデ、投票管
理等ニ於テモ直ニ文字ヲ讀得ルヤウニ
準備致シテアリマスル譯デアリマスカ
ラ、左様御承知ヲ願ヒマス
○赤間委員 市制ノ十八條——町村制
ニモアリマスガ、市制ノ十八條ノ五項
ニ「市ノ有給ノ吏員教員其ノ他ノ職員
ニシテ在職中ノ者ハ其ノ市ノ市會議員
ト相兼スルコトヲ得ス」トナツテ居リマ
ス、教員ト云フコトニナツテ居リマスカ
ラ、市カラ給料ヲ受クル所ノ小學校教
員或ハ女學校ノ教員或ハ商業學校ノ教
員中學ノ教員ト云フヤウナ者、總テノ
教員ヲ包含シテ居ル意味デアリマセウ
カ、若シサウナレバ私立ノ教員ナドハ

色々市カラ補助デモ受ケテ居ルヤウナ
場合ニ於テ、市カラ俸給ヲ貰ツテ居ル教
員ト一向變リハナイヤウナ事情ニナリ
ハセヌカト思ヒマスガ、サウ云フ者モ
此中ニ這入ルノデアリマセウカ、這入
ラヌノデアリマセウカ、二段ニ分ツテ御
答ヲ願ヒタイ
○狹間內務事務官 御答致シマス、教
員ノ範圍ニ付キマシテハ小學校ノ教員
ノミナラズ、市立ノ中等學校等ノ教員モ
皆含メル積リデアリマス、ソレカラ市
立ノ學校ト私立ノ學校トヲ區別シマシ
タ理由ハ、此度此市ノ有給吏員、小學
校教員等ニ對スル被選舉權ノ制限ヲ撤
廢シマシテ、之ニ代ルニ市カラ俸給ヲ
受ケテ居ル者ニ對シテ市會議員トノ兼
職ヲ禁止シマシタノハ、自ラノ俸給等
ニ關スル事項ヲ議決スル者ハ、市會議
員ヲ兼ネマシテ議決ニ加ハルト云フコ
トハ、或ハ議事ノ適正ヲ缺クト云フコ
トガアリハシナイカト云フ意味デ、兼
職ヲ禁止シタノデアリマス、私立ノ學
校ノ教員ハ市カラ俸給ヲ受ケテ居リマ
スニ關係上、教員ト云フ點ニ於テ制限
スルノデアリマセヌカラ、之ヲ加ヘナ
カツタ譯デアリマス、隨テ補助等ヲ受ケ
テ居リマスル者ハ、其他ノ團體ニ付キ
マシテモ相當アルノデアリマスガ、其點
マデ是ハ廣メルコトハドウデアラウカ
ト思ヒマシテ、實ハ俸給關係ニ依テ兼
職ヲ禁止スルト云フコトニナツタノデ
アリマス

○赤間委員 甚ダ徹底シナイヤウナ感
ジガ致シマスガ、私立ト云フノデ補助
ヲ受ケテ居ルノガ今アリハセヌカト思
フ、又將來出來ルカモ知レヌ、サウ云フ
モノハ給料ヲ貰ツテ居ルノト一向變リ
ハアルマイト思フ、議事ノ上ニ適正ヲ
缺クヤウナコトハ同ジコトデアルト思
フ、寧ロ市カラ給料ヲ貰ツテ居ルカラ、
市會議員ト兼ヌルコトガ出來ナイト云
フコトニナレバ、他ノ方ノ者モ加ハル
コトガ相當デハナカラウカト思フ、ソ
レ以上餘リ言ヘバ議論ニナリマスカラ
止メマス、他ノ職員ニ付テハドウナツテ
居リマスカ、市ノ囑託デ以テ市ノ何カ
事務ヲ執ツテ居ルヤウナ者ト、他ノ職員
トノ區別ハ、實情ノ上カラ言ヘバ一向
變リハナイト思ヒマス、職員ヲ除外ス
ルコトニナレバ、囑託事務ヲ執ツテ居ル
者モ、矢張市會議員ト兼ヌルコトガ出
來ナイト云フコトニスルノガ相當デハ
アルマイト思ヒマスガ、其點ニ對ス
ル御見解ハ如何デアリマスカ
○狹間內務事務官 茲ニ職員ト書キマシ
タノハ、主ナルモノハ例ヘバ市立ノ中
等學校ノ校長ノ如キハ教員ト云フ中ニ
這入リマセヌカラ、職員ト云フコトヲ
設ケル必要ガアツタノデゴザイマス、又
道路職員ニ付キマシテモ、市町村ニ於
キマスル道路職員モ矢張市カラ俸給ヲ
受ケテ居リマシテ、而モ有給ノ吏員ト
云フ者ニ入リマセヌカラ、職員ト云
フ文字デ現ハシタ譯デアリマス、ソレ

カラ囑託ノ關係デゴザイマスガ、囑託トカ雇員等ニ付キマシテハ、實質的ニ區別シテ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、ソレデ例ヘバ市立ノ病院ガアリマシテ病院ニ囑託ノ院長其他ノ者ヲ置キマシテ、サウシテソレハ市町村ガ職制ノヤウナ規定ヲ設ケマシテ、公務ニ參與スルヤウニ規定上出來テ居ル、囑託ニ付キマシテハ、矢張職員トシテ遇スル方ガ適當デアラウト思ヒマス

○田中政府委員 只今狹間サンカラ御述ガアリマシタ、教員ノコトニ付キマシテハ、御意見デアリマシテ、御質問デナイト拜承致シマシタデゴザイマスガ、只今御話ガアリマシタ私立ノ小學校教員ノ市町村會議員兼職ヲ禁止シナイコトニスルト云フ理由ニ付キマシテ御述ニナリマシタコトヲ拜承シテ見マス、實ハサウ云フ點モ御尤ノヤウニ考ヘラレマスケレドモ、又市町村カラ補助ヲ受ケテ居リマス團體ノ役員等ニ付キマシテモ、同ジク兼職ヲ許サナイヤウニシナケレバナラヌト云フコトニナリマス、サウナリマス市町村ニ於キマスル町村農會、町村尙武會ノ役員ト云フヤウナ者モ矢張兼職禁止ト云フコトニナリマスノデ、サウ云フ關係カラ考ヘテ見マシテ、私立ノ學校ノ教員ハ別ニ是カラ除外シナカッタ次第デアリマス

○赤間委員 御説ノヤウニ聽キマス、又疑ガ起ツテ來マス、私立ノ學校ニ學校ノ經費ヲ補助スルト云フコトニアラズ

シテ、或ハ私立ノ教員ノ俸給ヲ市カラ補助スル、町カラ補助スルト云フ場合ニナリマス、矢張市ノ有給ノ教員ノ俸給ト全體引括メテ總額幾ラト云フコトニシテ市町村會デハ決議ヲ致シマスノデ、甲ノ教員ノ給料ガ幾ラ、乙ノ教員ノ給料ガ幾ラト云フコトニ決議スルノデアル、私立ノ學校ニ對シテ教員ノ俸給ヲ市或ハ町村カラ補助スルト云フヤウナ場合ニハ、矢張市町村ノ有給ノ教員ト同ジク、其俸給額ヲ目標トシテ補助スルノデ、其間何等撰ブ所ガナイト思ヒマス、ソレデサウ云フヤウニ取扱フ區分スルコトハ適當デナイヤウニ考ヘマスガ、モウ一應御明答ヲ願ヒタイ

○田中政府委員 俸給ヲ標準トシテ補助ヲ致シマシテモ、矢張普通ノ農會又ハ町村尙武會等ニ對シマシテ事業費ノ補助ヲ致シマシテモ、矢張其點ノ關係ハ同ジモノト考ヘラレマス、サウナリマスルナラバ此兼職禁止ヲ私立ノ小學校教員ニ致シマスルト、矢張農會ノ役員等ニ付テモ同ジヤウナ結果ヲ見ハセヌデアラウカト思ハレマスカラ、矢張有給ノ教員——市町村ノ有給教員ダケニ止メテ適當ノモノト存ジマス

○赤間委員 大分違ヒマスケレドモ議論シナケレバナリマセヌカラ、其點ハ是デ止シマス、ソレカラ市制ノ二十一條、町村制ノ十八條、其市制ノ方デハ第

三號ニナリ、町村制ハ十八條ノ二號ニナル「選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名住所及生年月日等ヲ記載スヘシ」ト云フ其「等」ト云フコトハドウ云フコトヲ記載スルモノデアリマス、斯ウ云フ問題ハ實際ニ取扱フニ付テ、市役所、町村役場デハ困ル問題デアルト考ヘマス、吾々ハ歸レバ早速斯ウ云フ問題ニ付テハ尋ネラレマスカラ、餘リ細カイケレドモ御尋致シマス

○狹間內務事務官 是ハ例ヘバ其名簿ニ番號ヲ打チマス、トキニモ、住所氏名ダケニナツテ居リマス困ル、其名簿ニ數ガアリマスカラ、其番號ヲ打ツト云フヤウナコトデ「等」ト書イタノデアリマス

○赤間委員 是ハ今迄ノ規定ニアリマスガ、市制ノ二十五條ノ第四號、町村制ノ二十二條ノ四號「投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得」トアリマス、ドウヒ投票時間内ニ投票會場ニ這入ッタルト云フコトガ出來ルコトニナツテ居リマスガ、實際ノ取扱ヒハドウ云フコトニナツテ居リマス、此間高木君ノ御質問ノヤウニ、非常ニ選舉人ガ選舉會場ニ殺到シテ來ルデアラウト思ヒマス、ソレデ投票ガ濟マナイデ或ハ二時間、三時間過ギテモ一向構ハナイト云フ意味デゴザイマセウカ、今迄ノ取扱ヒハドウナツテ居リマス

○狹間內務事務官 只今御問ニナリマシタ通りデゴザイマシテ、選舉會場ニ這入ルノガ選舉投票ノ時間ヲ決メマシタ時以内デアリマスレバ、假令澤山ノ人ガ參リマシテモ、ソレハ皆投票ヲセシメナケレバナラナイノデアリマス、此度ノ選舉權ノ擴張ニ依リマシテ、投票ノ數ガ餘程殖エマスガ、ソレデ投票分會ヲ設ケル規定ヲ緩ヤカニシマシテ、從來ハ市デハ府縣知事、町村デハ郡長ノ許可ヲ要シテ居リマシタガ、此度ノ改正法ニ依リマシテ、市町村長ガ隨時投票分會ヲ設ケルコトガ出來ルヤウニシタノデアリマス、其點ハ餘程町村長ノ見計ヒニ依リマシテ、緩和出來ルダラウト思ヒマス、又開票ニ付キマシテ、改正法ハ市制、町村制共ニ開票ニ關スル規定ヲ設ケマシテ、開票ハ投票ノ日ニスルコトモ出來マスガ、又其翌日ソレヲスルコトモ出來ルヤウニ明文上之ヲ認メマシタノデ、時間ガ遅レマシテモ其點ハ差支ナイト思ヒマス

○赤間委員 市制ノ第三十七條ノ第三號、町村制ノ第三十四條ノ三號「當選者ナキトキ、當選者ナキニ至リタルトキ、又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルトキ若ハ定數ニ達セサルニ至リタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ」是ハ選舉人名簿ノ確定シタトキニ更ニ選舉ヲ行フ場合ノ規定デゴザイマス、其書方ガ少シ文字ガ足りナイト思フ、又ハ下ニ當選者其選舉

ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルトキ、或ハ定數ニ達セザルニ至リタルトキハ更ニ選舉ヲ行フベシト云フコトニナツテ居ッテ、無論其意味ハ其選舉デ當選シテ居ル者ハ更ニ選舉ヲ行フ必要ハナイ、其定數ニ達セザル場合或ハ定數ニ達スルニ至ラナカッタ場合ニ、其足りナイ議員ノ選舉ヲ行フト云フ意味デアラウト思ヒマスガ、此文字ノ書方デハ少シ全部ノ選舉ヲ行フモノ、ヤウニ見エルト思ヒマスガ、此意味ハ其以前ノ規定ニハ其不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フベシト云フコトニハッキリナツテ居リマスガ、今度ノ書方ハ此不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フト云フコトガナイ爲ニ、全部ノ選舉ヲ行フノデハナイカト云フコトニ見エマスガ、如何デアリマスカ

○狹間内務事務官 此規定ハ現行法ノ議員ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハザルトキト云フ言葉ト全然同一ノ意味デアリマスガ、當選者ナキトキ又ハ當選者ナキニ至リタルトキト云フコトガ現行法デハ明瞭ニ出テ居リマセヌカラ、此規定ヲ明ニスル爲ニ斯ウ書イタノデアリマス、不足ノ員數ニ付ト申シマス、或ハ一人二人殘ツテ居ッテ、サウシテ足ラナイト云フ風ニ考ヘラレル處ガアリマスノデ、斯ウ云フ風ニ文字ヲ更ヘタニ過ギナイノデアリマス

○赤間委員 ドウモ甚ダ分ラヌヤウニ思ヒマス、例ヘバ十人ナラ十人ノ議員ノ選舉ヲ致シマス場合ニ、八人ダケハ

當選者ガ出來テ、二名ダケ不足デアルト云フ場合ニ、斯ウ云フ條文ニナツテシマヒマス、二名ダケノ選舉ヲ行フコトニ見エナイヤウニ思ヒマス、ソレカラ更ニ定數ニ達セザルニ至リタルトキト云フノハ、或ハ十名ノ議員ノ定數デアッタノニ、二名ダケ何カ當選ノ無効ニナルカ何カシタ場合ニ、更ニ不足ノ二名ダケノ選舉ヲシナケレバナラヌト云フコトニナラウト思ヒマス、此書方デハ以前ニ折角其不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フト云フ規定ニシテアッタノヲ、此文字ヲ取ツテシマツテ、三月以内ニ更ニ全體ノ選舉ヲヤラナケレバナラヌヤウニナツテ、此條文ノ上ノ唯文理解釋ト致シマス、サウ云フ風ニナリマス、法理カラ言ヘバソナ事ノアルベキ筈ハナイト思ヒマスガ、是ハドウシテモ不足ノ員數ニ付ト云フコトハ、此意味ノ文字ヲ加ヘタ方が明瞭ニナルト思ヒマスコトウデス

○狹間内務事務官 不足ノ員數ニ付ト云フノヲ特ニ規定シマセヌデシタノハ、當選者ガナキトキニ更ニ選舉ヲ行フベシ、其當選者ノナイ全部ノモノニ付選舉ヲ行フ必要ガアリマス、又議員ノ定數ニ足ラナカッタ場合ニハ、其足ラナイモノニ付更ニ選舉ヲ行フノデアリマスカラ、當選者ノアルニモ拘ラズ、更ニ其當選者ヲ無視シテ全部ノ選舉ヲヤリ直スコトニハナラナイト思ヒマスカラ、此度ノ改正デ不足ノ員數ト云フ言葉ヲ

特ニ除イタノデアリマス
○赤間委員 當選者ノナイトキニ更ニ選舉ヲ行フト云フコトハ勿論ナ話デゴザイマスガ、ソレカラ當選者ガアツテ尙ホ何人カ定數ニ不足ヲシタ場合ニ、選舉ヲ行ハナケレバナラヌト云フ場合デモ、勿論ナ話デアリマスケレドモ、此文字ノ書方ガ當選者ナキニ至リタルトキト云フノハ、是ハ問題ハナイノデアリマスガ、其下ノ又ハト云フ文字デアルト、當選者ノ選舉ヲ受ケル議員ノ定數ニ達セザルトキ、若クハ達セザルニ至リタルトキハ、更ニ三月以内ニ選舉ヲ行フトコトニナルト、此書方デハ、唯文理ノ上カラハ一寸全部ヲ選舉シナケレバナラヌカノヤウニ見エルト、折角舊規定ニ不足ノ員數ニ付ト云フコトガアッタノヲ、ソレヲ取ツテシマツタト云フコトハ、却テ改惡シタヤウニ考ヘル、文理ノ上カラスラツト之ヲ讀ンデ見マス、私ハサウハ見エナイヤウニ思ヒマス

○狹間内務事務官 文理ノ上ニ於テモ當選者議員定數ニ達セザルトキニ選舉ヲ行フノハ——其足りナイ部分ダケニ付選舉ヲ行フノハ當然デアルト思ハレテ選舉ヲ行フノハ當然デアルト思ハレテ、選舉無効ト確定シタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシト書キマシタ此規定ニ於キマシテモ、若シ選舉無効ト云フコトガ選舉ノ一部ニノミ存在シマスレバ、其一部分ニ付テノミ選

舉ヲ行フト云フコトハ、矢張條理上當然ニ來ルヤウニ思ヒマスノデ、ソレ等ノ關係ト合セテ「不足ノ員數ニ付」ト云フコトハ特ニ書カナカッタノデアリマス
○赤間委員 是レ以上質問ハ止シマス、市制第四十九條町村制第四十五條ノ二、ソレニ「前項假議長ノ選舉ニ付テハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齡同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトニナツテ居リマス、新シク此規定ハ出來テ居ル、議長ニ故障ノアツタ場合ニハ副議長ガ代ル、議長副議長共ニ故障ガアツタ場合ニハ假議長ヲ選舉シナケレバナラス、其場合ニ同年ノ議員ガ二人居ッタトキニハ抽籤ヲ以テ定ムト云フコトニナツテ居リマスガ、抽籤ハ誰ガ致シマスカ、ハッキリ致シマセヌ

○狹間内務事務官 此規定ハ現行府縣制ノ用例ニ依リマシタノデ、此場合ニ於テハ議會ニ於テ、市會ナラ市會、町村會ナラ町村會ニ於テ抽籤ヲシテ定ムルコトニナリマスノデ、議長ガアリマセヌカラ議長ガ抽籤シテ定メルト云フコトガ言ヘナイ關係上、抽籤ヲ以テ定ムト規定シタノデアリマス
○赤間委員 是ハ誰ガ抽籤スルカ、市長ガ市會ヲ召集シ、町村長ガ町村會ヲ召集致シテ居リマスノデ、ソレ等ノ人ガ抽籤スルカ何カハッキリシテ居ナイト、縣會ノ實例ナシカ知リマセヌガ、唯町村會議員ガ多勢寄ツテ抽籤ヲシヤウ、抽

籤ノ方法ハドウダト云フヤウナ事デ
折合ガ付カヌヤウニナルカモ知レマセ
ヌ、實際ニ當ツテ黨派ガ分レテ甚シイ議
論デモアル場合ニハ、抽籤方法ニ付テ
モ議論ガアルト考ヘマス、抽籤ハ誰ガ
ヤルカト云フコトハハッキリシテ置イ
タ方ガ宜クハナイカト思ヒマス

○狹間内務事務官 只今私御質問ヲ取
違ヘテ居リマシタガ、此規定ヲ書キマ
ス際ニ、府縣制ノ第四十九條ニ年齡同
シキトキハ抽籤ヲ以テ定ムト云フ同シ
規定ガアルノデアリマスガ、斯ウ云フ會
議體ニ或ハ府縣知事、市長、市町村長ト
云フヤウナ者ガ出テ行ッテ抽籤スルト
云フコトハ適當デナイノデアリマス、
矢張議會ニ於テ書記長ガ其投票ヲ管理
スルコトニナリマス——抽籤ニ付テハ
管理者ニナルト思フノデアリマスガ、
ソレヲ公文上茲ニ現ハス必要ハナイト
思ヒマス、矢張現行法ノ他ノ法制ノ例
ニ倣ッテ抽籤シテ之ヲ定ムト書イタノ
デアリマス

○赤間委員 マアソレ位デ宜シウゴザ
イマセウ、町村制第四百七條ノ中ニ
「左ニ掲クル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ
受クヘシ」ト云フ許可事項ノ中ノ第二
號ニ「基本財産及特別基本財産並林野
ノ處分ニ關スル事」是ハ此間非公式ニ
御尋シマシタガ、「林野ノ處分ニ關スル
事」林野「ト云フノハ或ハ町村有ノ林
野、或ハ部落有ノ林野ノ處分ニ關スル
事ト云フコトニ非公式ニ伺ッタノデア

リマス、林野ノ外ニ或ハ海邊ノ町村ニ
於テハ漁業權トカ云フヤウナモノヲ町
村ニ持ッテ居ル場合ガアルカモ知レマ
セヌ、又町村デ或ハ林野ノ外ニ溜池ヲ
持ッテ居ルトカ、何カサウ云フヤウナ色
色ナ問題ガ別ニアリハシナイカト思ヒ
マス、特ニ林野ダケヲ斯ウ云フ風ニ限
定シテ今度規定ニナッタト云フコトハ
ドウ云フ意味デアリマセウカ、外ニハ
サウ云フモノハ無イト云フ爲ニ林野ダ
ケヲ規定ニナッタノデアリマス

○狹間内務事務官 此度事務簡捷ノ趣
旨ニ依テ不動産ノ處分ニ關スル手續ハ一
切不要許可事項トスルコトニシタノデ
アリマス、就中公有林野、部落有林野ノ
ミニ付テハ、是ハ他ノ宅地トカ或ハ田
畑トカ云フヤウナモノト全ク其事情ヲ
異ニシテ居リマス、其部落ナリノ人、
ガソレニ依テ殆ド産業並生活ノ資ヲ得
テ居ルト云フヤウナ事情ガ全國ニ互
テ多數アルノデアリマス、又此林野ノ
問題ニ付キマシテハ其處分ヲ自由ニ一
任シマスコトニ依テ、多クハ其處分ガ
適當ヲ缺ク場合ニハ、其部落ニ於ケル
人ノ生活ノ途ニ窮スルヤウナコトニ
ナルヤウナ實例モナイデハナイノデア
リマス、從ヒマシテ斯ウ云フヤウナモノハ
他ノ不動産ト全ク其實際上ノ利用ノ關係
ヲ異ニシテ居リマスノデ、同ジク不動産
デハアリマスガ、特ニ林野ノミニ付テ
ハ公有林野、部落有林野ニ通ジマシテ、
其處分ハ將來ニ於テモ許可ヲ存シテ置

クト云フコトガ、所謂小民保護ト申シ
マス、サウ云フ意味ニ於キマシテ必
要デアルト認メテ殘シタ譯デアリマス
○赤間委員 是ハ尋ネテ參リマシタカ
ラ一寸念ノ爲ニ伺ッテ置キマスガ、市制
第二十一條、町村制第十八條ニ依リマ
スト、選舉人名簿ハ九月十五日現在ニ
依テ調製スルコトニナッテ居リマス、所
ガ本年ノ七月ノ一日カ或ハ其他七月上
旬ニ市會議員選舉ヲ行フ所ガアルサウ
デアリマス、ソレ等ハ矢張隨時名簿ニ
依リマス、實際ノ御取扱ハドウ云フ
コトニナッテ居リマス

○狹間内務事務官 ソレハ附則ノ關係
デゴザイマシテ、市制、町村制ヲ通ジテ
居リマス問題デアリマスガ、議員ヲ選
舉スル期日ガ本年ノ十二月二十四日
前ニ起リマス所デハ、九月十五日ノ現
在ニ依テ名簿ヲ作ルコトガ出來マセ
ヌ、從ヒマシテ附則ノ第二項ニ規定ヲ
設ケマシテ、市制デハ「第二十一條乃至
第二十一條ノ五ニ規定スル期日又ハ期
間ニ依リ難キトキハ命令ヲ以テ別ニ其
期日又ハ期間ヲ定ム」ト云フコトニシ
テ居リマス、之ニ依テ例ヘバ七月ニ於
テ選舉ヲスル日ガアリマシテ、サウシ
テ、其選舉ノ期日カラ遡ッテ六十日目ノ
日ノ前日ニ此法律ガ公布セラレ、バ、
別ニ命令ヲ出シテ新ニ適當ノ日ヲ選シ
デ名簿ヲ作ルト云フ命令ガ出ル譯デア
リマス

○赤間委員 是デ宜シウゴザイマス

○荒川委員長 加藤錄五郎君
○加藤(錄)委員 私遲レマシタカラ若
シ重複デアリマシタラサウ仰シヤッテ
戴キタイ、市制ノ第十條第二項ニ「左ノ
各號ノ一ニ該當セサル者ニシテ名譽職
ノ當選ヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭シ若ハ其
職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ市ハ一
年以上四年以下其市公民權ヲ停止シ」
云々ト云フコトハ是ハ質問ガアリマシ
タカ

○荒川委員長 否ヤマデアリマセヌ
○加藤(錄)委員 是ハ其中ニ一二三四
五六ト色々アリマスガ、是ハ其趣意ニ
於テハ尤ダト思フケレドモ、其義務ヲ
果サヌ場合斯ウ云フ規定ヲ設ケテ置ク
ト云フノハ是ハ尤ダラウト思ヒマス
ガ、實際斯ウ云フコトガアリマス、今
市會議員ノ中ニ非常ニ運動シテナリマ
シタ其結果、斯様ナ規定ヲ設ケネバナ
ラヌ事情ガアルカ、此競争ノ盛ナトキ
ニ斯様ナ規定ガ實際ニ必要ナ場合ガア
リマス、私ハ趣旨ハ尤モダト思ヒマ
ス、併シ事實ニ於テ斯様ナコトガアル
カドウカ、市會議員ニ當選シテ一寸モ
出ヌトカ、市會議員ニ當選スルコトヲ
絕對ニ辭スルトカ云フヤウナコトガア
リマス

○狹間内務事務官 實例ハゴザイマ
ス、同時ニ一方ニ於テ義務ヲ命ジテ居
リマス、斯クノ如キ制裁ヲ設ケ
ルコトハ必要デアラウト思ヒマス
○加藤(錄)委員 實際多クアリマス

カ

○狹間内務事務官 餘リ多數ハアリマセヌガ、時々實例ハ最近ニ於テモゴザイマス

○加藤(鏐)委員 只今赤間君ノ御尋ニナリマシタ市制十八條ノ今度改正ニナリマス五項デアリマスガ、市ノ有給ノ吏員教員其ノ他ノ職員云々ノ職員ト云フコトデアリマスガ、私這入ッテ來タ所デ能ク分ラナカッタ、或ハ聞キ間違ヒカモ知レマセヌガ、囑託ハドウカト云フ御話ニ付テ、女學校ノ校長トカ何トカハ、小學校ノ教師デモナシ此中ノ職員中ニ含マシテアルト云フヤウナ意味ニ承リマシタシ、此囑託ト云フモノハ一寸聞洩ラシマタシガ、職員ニ這入ルト云フ御意見デアルカ、囑託ハ囑託デ、從來ノ如ク囑託デアッテ職員ニ入ラナイト云フ意味デアリマスカ

○田中政府委員 職員ノ範圍ヲ、市町村ニ於キマシテ職制ヲ設ケテ設置シテ居リマスル者ダケヲ含メテ居ル、從ッテ囑託ニ就テ若シ職制ヲ設ケテアリマスナラバ這入リマス、ケレドモ恐ラク御話ヤウナ囑託ハ、雇傭契約ニ依テ居ルモノト思ヒマスガ、單純ナル雇傭契約ニ依ル者ハ職員ノ中ニ這入ラナイト云フ取扱ニナッテ居リマス

○加藤(鏐)委員 一例ヲ申シマスレバ、例ヘバ町村市ニ於ケル小學校ノ囑託ノ校醫ノ如キ、校醫ハ勿論囑託デアル、是ハ市町村ニ於キマシテ囑託ノ校

醫等ハ能ク出ル、事實現ニ皆出テ居ルノデアリマス、是ハドウ云フコトデスカ、實際問題デスカラ伺ヒマス

○田中政府委員 校醫ハ職員ノ中ニ這入ラヌト思ヒマス、隨テ之ニ依テ兼職禁止ヲサレナイト思ヒマス

○加藤(鏐)委員 例ヘバ校醫ト云フモノハ職員ニ入ラヌコトハ當然デ、囑託デアリマシテ差支アリマセヌガ、或ル都市ニ於キマシテハ、日常職員ノ如ク勤務シテ居ルヤウナ場合ガアリマス、從來モ職員ト認メテ居ラヌノデアリマシガ、事實ハ同ジク吏員ノ通りノ事ヲシテ居リマス、是ハドウ御認ニナリマスカ

○狹間内務事務官 職員ノ關係ハ、サウ云フ細カイ問題ニナリマスト、實際ニ其人ノ職務關係ヲ、市ノ庶務規定ナリ何ナリニ依テ調ベナケレバ分ラヌト思ヒマス、只今御話ニナッタ場合ニ於キマシテハ、職員ニハ這入ラヌト思ヒマスカ

○加藤(鏐)委員 「市制七十八條市長、有給市參與及助役ハ府縣知事ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他ノ報償アル業務ニ從事スルコトヲ得ス」トアルノハ市長ダケデ、他ノ者ハ御拔キニナッテ居リマスガ是ハドウ云フ譯デスカ

○狹間内務事務官 是ハ一方ニ於キマシテ市助役ノ如キハ、改正案ニ付テハ其就職ニ付キ府縣知事ノ認可ヲ要セザルコトニ致シタノデアリマス、此趣旨ハ市

長ノ補助機關ハ總テ責任ハ全部市長ガ持ッテ之ヲ推薦スルト云フコトニシテアル譯デアリマスカラ、其趣旨ヲ以チマシテ、市長ガ服務規律ヲ設ケル場合ハ別問題デアリマスガ、強ヒテ府縣知

事ノ就職ノ認可ノナイモノニ、此事項ニ付テノミ許可ヲ得サセナケレバナラヌト云フコトモナイト思ヒマス、是デハ市長ダケニ許可ヲ殘シタノデアリマス

○青木委員 水利組合ノ事ニ付テ御尋致シマス、從來組合ノ管理ハ郡長又ハ市町村長デヤッタモノヲ、今度ハ町村長及官吏ト云フコトニナッタノデアリマシガ、從來ノ實蹟ニ徴スルト郡長ガ皆ヤッテ居ッテ、町村長ガ管理シタコトハ殆ドナイ、殊ニ事實上ニ見マシテ町村長ト云フモノハ組合員ニモナッテ居ラヌト云フ現状ニアル、町村事務ト水利行政トハ、經濟上ノ立場カラシテ全ク沒交渉ニアッタ、今度郡長ガナクナル爲ニ町村長ニ移スト云フコトハ、非常ニ實際上一ノ經濟上ノ立場カラ違ウダラウト思ヒマス、是ハ矢張町村長スラモ公選說ノアル今日デアリマスカラ、組合員デナイ者ヲ管理者タラシメルコトハ甚ダ面白クナイト思ヒマス、是コソ組合員カラ公選シタラ宜カラウ、斯ウ思フノデアリマスガ如何ナルモノデアラウカ、此點ヲ十分承リタイト思ヒマス、尙ホ官吏ト云フコトニ付テ伺ヒタイ、府縣知事必要アリト認ムルトキハ官吏ヲ指定シ組合ノ事務ヲ管理セシムルコトヲ

得」トアルガ、官吏ト云フ範圍ハドレ位ノ程度デアリマスカ、序デニ承ッテ置キマス

○田中政府委員 只今御話ガアリマシタ、水利組合ノコトニ付キマシテ現況ヲ取調ベテ見マス、水利組合ノ管理ハ現在ニ於キマシテハ郡長ガ致シテ居リマスルヨリハ、町村長ガ致シテ居リマスノガ多イノデアリマシテ、御話ノヤウナ事實モゴザイマスガ、全國ヲ平均致シテ見マス、郡長ノ管理致シテ居リマス組合ノ數ハ三百二十三ニ對シマシテ、市町村長ノ管理致シテ居リマス組合ノ數ガ千九百六十ト云フヤウナ多數ニ上ッテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、郡役所ガ廢止サレマシタ以上ハ、外ニ適當ナ機關モゴザイマセヌノデ、此普通ノ狀態ニ鑑ミマシテ、市町村長ヲシテ矢張管理セシムルノガ適當デアラウト考ヘタ次第デアリマス、又管理ト云フコトニ付キマシテ御尋ガゴザイマシタガ、管理ト申シマスノハ、普通ノ事務全部ヲヤラスト云フコトデゴザイマスカ

○青木委員 官吏ト云フガドノ邊ノ官吏ヲ言フノデスカ、大體……

○田中政府委員 府縣知事ガ指定シマシタ官吏ガ組合事務ノ管理ヲ致シマスル範圍ハ、市町村長ノ一人ガ指定サレマシテ組合事務ノ管理ヲ致シマスノト全然同一デアリマス

○青木委員 役人ノ程度、例ヘバ書記

町村モ道廳長官ガ認容スレバ採用サレ
ル譯デア、所ガ實際問題ト致シマシ
テ、其道會議員ハ道參事會員ニナル權
能ヲ持ツテ居ル、所ガ參事會員ハ地方費
ノ調査ヲシテ廻ル、所ガ自分ハ俸給ヲ
受ケテ——府縣ニハ例ハ少ナイカ知ラ
ヌガ、北海道ノ一級町村デハ、隨分補助
ヲ受ケテ其町村ノ仕事ヲヤツテ居ル、或
ハ土木費ノ補助ヲ受ケルト云フヤウナ
コトデ、北海道特有ノ地方費ノ補助ヲ
町村デ受ケルコトガアル、ソレヲ自分
デ検査スルベク、被監督者ノ地位ニ在
ルモノガ監督ノ地位ニ立ツ、斯ウ云フ矛
盾ガ常ニアルト私ハ信ジテ居ル、故ニ
北海道ノ一級町村長モ、道會議員ヲ兼
ネルコトハ良イコトデナイト考ヘルガ、
況ヤ今ノ二級町村長ハ出來ナイト云フ
コトニナリマスルト、益其矛盾ガ甚
シイ譯デアリマスガ、是モ少シドウモ
——

—— 鈔クトモ局長位ニ御伺ヒシタイノ
デアリマスケレドモ、御出席ガナケレ
バ致方ガアリマセヌ、アナタ方カラデ
モ御答辯ガ出來レバ……
○田中政府委員 本日局長ハ一寸故障
ノ爲ニ出ラレマセヌカラ、御希望ニ依
リマシテ局長カラ御答ヘ致シタ方ガ相
當ト思ヒマスカラ、局長カラ……
○松實委員 ソレデハ地方費法ノ改正
ニ付テ伺ヒタイ、地方費法ノ第六條ハ
削除サレテ居リマスルガ、是ハ無論戸
數割ト云フモノガ、町村ニ委譲ト申シ
マスカ、府縣ガ取レヌト云フコトニナッ

タ結果デアリマセウガ、併ナガラ之ヲ
地方ニ委譲スルト云フコトニナルト、
町村ハ勝手ニ此移住ノ日ヨリ三年ヲ經
過セザル者ヨリ賦課徴收スルコトニナ
ル、之ヲ更ニサウサセナイヤウニ、從來
ノ精神ヲ繼續シテヤラセル途ガアリマ
スカ、ソレヲ伺ヒタイ

○田中政府委員 是ハ御承知ノ如ク北
海道地方費ノ問題ト致シマシテハ此中
ニ規定スルコトガ出來マセヌノデ、戸
數割ノ規定ハ削除致シタ次第デアリマ
スカ、戸數割ハ市町村稅トナリマス結
果、何レモ市町村條例ヲ以テ規定スル
コトニナツテ居リマスカラ、其結果、内
務、大藏兩大臣或ハ北海道長官ノ許可
ヲ要スルコトニナルヤウニ考ヘラレマ
スカ、其場合ニ於キマシテ、尙ホ能ク攻
究致シマシテ十分研究ヲ遂ゲタイと思
ヒマス

○松實委員 其次ニハ地方費法ノ第八
條デスガ、是ハ私未ダ能ク分リマセヌ
ガ、府縣制ニハ第八條ノ項目ハ列舉シ
テナイヤウデアリマスガ、或ハアルノ
カ知レマセヌガ、私ニハ見當ラヌノデ
アリマス、若シ府縣制ニ無クシテ此處
ニ是ガアルト云フコトニナルト、何ト
ナク北海道ノ權能ヲ狹バメラレタヤウ
ニ思ヒマスガ、今モ申シマシタヤウニ、
例ヘバ北海道會ニ於テ二級町村長ノ俸
給旅費ヲ之ヲ一般ノ町村ノ補助トシテ
支出シタ方ガ宜イト考ヘテモ、此項目
ガアル以上ハソレガ道會ノ自由ニナラ

ヌ、斯ノ如キモノハ是ハ矢張府縣制ヲ
準用スレバ、第八條ノ項目ハ削ツテモ宜
カラウト思ヒマスガ、ソレニ付テハ如
何ニ考ヘテ居ラレマスガ、私ハ削ツタ方
ガ適當デアルト思フ、ソレカラ又是ハ
ホンノ字句ノコトデアルガ、地方費法
ト云フノ法律デアリマスガ、此八條ニ
「法律勅令ニ規定アルモノノ外」トアリ
マスガ、勅令ニ依テ地方費法ヲ拘束ス
ルト云フノハ逆ノヤウニ思ヒマスガ、
ソレハドチラデモ宜イガ、兎ニ角八條
ノ項目ヲ削ツテモ、府縣制ノ第何條カラ
準用スル方ガ、地方ノ財政若クハ權限
ノ運用ニ付テ適當デナイカト考ヘル
ガ、是ハドウカ

○田中政府委員 御承知ノ如ク府縣制
ノ百二條ニ於テハ「府縣ハ其ノ必要ナ
ル費用及法律勅令又ハ從來ノ慣例ニ依
リ府縣ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル
義務ヲ負フ」トアリマシテ、而シテ府縣
ニ付キマシテハ現在明治十三年太政官
布告ノ地方稅規則ト云フモノガゴザイ
マシテ、此地方費法ト同様ナル種類ノ費
目ヲ列舉シテ居リマス、而シテ此地方稅
規則ガ府縣制ノ方ヘ働イテ參リマシ
テ……(私語スル者多ク聽取シ難シ)ソ
レ故ニ特ニ之ヲ削除スルノ必要モナイ、
寧ロ之ヲ置イタ方ガ府縣ト北海道地方
費法トノ間ニ同ジ趣旨ノ規定ガ爲シ得
ルモノト信ズルデアリマス、而シテ又
勅令ニ付テ何カ御疑念ガオアリニナル
ヤウデアリマスガ……(私語スル者多ク

聽取シ難シ)北海道ニ對シテ負擔ヲ負
ハスノデアリマスカラ、此地方費法ニ
於キマシテ矢張勅令デ規定シ得ルト云
フ規定ヲ第一項ニ置イテ置ク方ガ適當
ト思ヒマスノデ、之ヲ置イテアル次第
デアリマス、一寸附加ヘテ申シマスガ、
今申シタ地方稅規則ハ今回ノ地方稅ニ
關スル法律ニ依テ廢止セラレルコトニ
ナツテ居リマスガ、ソレニ代リマス勅令、
ノ此地方稅規則ノ第三條ニ相當スル勅
令ヲ更ニ作ル豫定ニナツテ居リマス

○由谷委員 簡單ニ御尋シマスガ、先
刻赤間君ノ御質問デ少シク疑義ガ起ッ
タノデアリマスガ、十八條ノ被選舉權
ヲ有セナイト云フ五項ノ問題デアリマ
ス、實例カラ見マスと私立ノ學校ガアッ
テ、ソレガ市カラ相當ノ補助ヲ受ケテ
居ル、其教員ガ被選舉權ヲ有スルモノ
デアルガ、色々ノ請負業者ノ被選舉權
ニ付テハ嚴密ナ規定ニナツテ居リマス、
私立ト雖モ學校ノ經費ノ大部分ヲ其市
カラ貰ツテ居ル場合、其教員ガ當選シ得
ルト云ヘバ、請負業者側ノ制限ト大分差
別ガアルヤウニ思ヒマスガ、簡單ニ御
説明ヲ願ヒタイ

○狹間内務事務官 只今御尋ノ件ハ先
程モ申サレタヤウデアリマスガ、私立
學校教員ニ對シテ兼職ヲ禁ジナイノ
ハ、請負業者トノ關係上下ウデアラウ
カト云フ御尋デアリマスガ、是ハ前申
スヤウニ此兼職ヲ禁ズルコトニナル
ト、色ニ關係カラ其範圍ヲ定メルノ

ニ困難デゴザイマス、隨テ此兼職禁止ハ直接市カラ俸給ヲ受ケテ居ル者ノミニ限ル方ガ適當ト思ヒマス、一方請負者關係ニ付キマシテハ、市若クハ一般市民等ガ負擔スル事業等ニ付テ、市長其他ノ者ト請負ヲスルノデアリマスカラ、其關係ハ自ラ事情ガ異ツテ居リ、議員トシテモ十分機能ヲ發揮スルコトガ出來ナイト云フコトモアリマスノデ、兼職禁止ノ規定ハ現行通り、選舉權ヲ制限シテ置ク方ガ適當ト思ヒマス

○由谷委員 ソレ以上ハ意見ノ相違ニナリマスカラ申シマセヌガ、次ハ第三十五條ノ規定デアリマスガ、選舉ノ規定ニ違反シタ場合ハ、其全部又ハ一部ノ選舉ヲ無効トスルコトニ今回但書ヲ御加ヘニナツタコトハ、大變結構デアリマス、付キマシテハ從來行政判決等選舉ヲ遣直シタ場合ノ何カ表ノヤウナモノデモ御手許ニアレバ、後デ御示シヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ次ニ市制第八十三條ノ……(私語スル者多ク聽取シ難シ)此委員ノ任期ノ問題デアリマス、從來ハ市條例アタリデ決メテ居ツタモノデアリマスガ、此參事會員ノ任期二年ニセラレタト同様、法律デ御規定ニナツタコトデアラウト思フ、尙ホ別段ノ規定ト云フモノハ從來ヤツテ居ルヤウニ、市會議員カラ何人ト云フヤウニ、其委員ヲ指定スルコトハ矢張御許シニナルモノト思ヒマス、モウ一點ハ今回第九十二條ノ二ト云フモノ

ヲ御插入ニナツテ居リマス、是ハ府縣制ニアルヤウデアリマスガ、是ハ自治權ヲ擴張スル意味カラ中スト(私語スル者多ク聽取シ難シ)

○狹間内務事務官 只今ノ三十五條ニ關スル件ニ付テハ早速御手許ヘ差上ゲルコトニ致シマス、第八十三條ノ委員ノ問題デアリマスガ、是ハ市ノ有給吏員ト同ジヤウニ、市長ノ補助機關トシマシテ財產營造物ニ關スル事務其他委託ヲ受ケタル事務ヲ辨ズルモノデアリマシテ、之ニ任期ヲ限ルト云フコトハ、原則トシテハ必要ハナイノデ、別段ノ規定ハ市條例デ設ケ得ルコトニナツテ居リマス、是デ必要アレバ如何様ニデモ出來ルノデアラウト思フ、又此特別組織ヲ規定スルコトハ、此度ハ常設委員ノミナラズ、臨時委員ニ付テモ認メル範圍ヲ擴メル次第デアリマシテ、特別組織ヲ市條例デ規定シ得ルコトハ……(私語スル者多ク聽取シ難シ)第九十二條ノ二ニ「市參事會ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ハ其議決ニ依リ市長ニ於テ專決處分スルコトヲ得」ト云フ途ヲ開キマシタノハ、自治權ノ擴張ト背馳スルモノデハナイノデアリマシテ、權限ト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、強テ市參事會デ一々解決スル必要ガナイ、參事會ニ於テ認メマス事件、例ヘバ訴願ノヤウナモノニ付キマシテハ……(私語スル者多ク聽取シ難シ)是ハ市參事會ノ意嚮デ如何様ニモ決マルコトデゴ

ザイマスガ、簡單ナモノダケヲ市長ニ當分ノ權限ヲ與ヘルコトガ適當ト認メタ次第デアリマス

○由谷委員 モウ一點御尋シマスガ、三十五條ノ規定ニ付キマシテ實ハ私ノ地方デ一級選舉ノ行政訴訟ガ起ツテ居ル、是ハ判決ガ何時來ルカ分リマセヌガ、來ル時間ニ依テハ附則ノ第一項ニ御示シニナツテ居ル議員選舉ニ關スル規定ハ、次ノ總選舉ヨリ之ヲ行フトアリマスカラ、次ノ鳥取市ノ總選舉ノ來ルマデニ判決ガアレバ、現行法デ選舉ヲヤルコト、考ヘマスガ、併シ一方第二項デ各種ノ選舉ニ對シテ勅令ヲ以テ期日又ハ期間ヲ定メルト云フコトガアリマスカラ、是ガ若シ……(私語スル者多ク聽取シ難シ)サレルコトニナリマス、選舉ノヤリ方ニ付テ疑義ガ起ルダラウト思ヒマスカラ、其點ヲ伺ツテ置キマス

依テ別ニ名簿調製期日又ハ縱覽期間ト云フモノニ關スル規定ヲ設ケル必要ガアル、又今年ノ十二月二十四日以前ニ行フ選舉ニ付テハ、縱令通常ノ選舉デアリマシテモ九月十五日現在ノ名簿(私語スル者多ク聽取シ難シ)……十二月二十五日ヲ以テ確定……(私語スル者多ク聽取シ難シ)十二月二十四日マデニ行フ選舉ニハ此規定ニ依テ特別ノ期間ヲ定メル必要ガアルノデス

○由谷委員 鳥取市ノ……(以下私語スル者多ク聽取シ難シ)

○狹間内務事務官 隨時名簿ガ作ラシテ……(發言スル者多ク聽取シ難シ)其名簿ハ一年間有效デアリマス

「私語ヲ禁ジマス」ト呼フ者アリ

○荒川委員長 此際諸君ニ御諮リ致シマス、マダ通告者モ相當アリマスカラ、今日ハ此程度ニ置キマシテ、明後八日午前質問ヲ續行シ、午前中ニ質問ヲ終了シテ、九日ハ一日休ミマシテ、十日ノ午前ニ決定ヲ致シタイト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス、ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス

午後零時三十三分散會

大正十五年三月六日印刷

大正十五年三月八日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社